



# がっこうとしょかん はくたの学校図書館だより

だいごうれいわがっはっこう  
第1号 令和3年5月発行

はくたちょう しょうがっこう こう ちゅうがっこう こう し  
伯太町には、小学校が4校、中学校が1校あります。知っていますよね？

…ということで今回は、本の紹介を学校名であいうえお作文風にやってみました！

みなさんなら、どんな本を選びますか？

## がっこうめいほんしょうかい 学校名で本紹介



やすだしょう  
安田小



や

653

『やまおやじ』

いまもりみつひこ しょうしん ぶん しょうがくかん  
今森光彦/写真・文 小学館

やまおやじは、幹が太くなつたク  
ヌギの木です。やまおやじは林の  
中の命を何年も、何年もやさしく  
見守っています。



す

E

『スイミー』

レオ=レオニ/作 好学社

みんなと協力することを教  
えてくれるスイミーの話は、  
教科書にもものっています。



だ

913

『だれかのぞむもの』

おかだ じゅん さく りろんしゃ  
岡田 淳/作 理論社

こそあどの森でふしぎなことがお  
こります。それは、人の心を読み、  
変身もできる「フー」のしわざかも  
しれません。

あかやしゅう  
赤屋小



あ

933

『アッホ夫婦』

ロアルド・ダール/著 ケンティン・ブレイク/絵  
ひょうろんしゃ  
評論社

アッホ夫婦は夫婦そろって意地悪で  
す。お互いに意地悪をしあうし、飼って  
いる猿にもひどいうち。そんなある  
日、一羽の鳥がやってきて、猿と一緒  
にアッホ夫婦をこらしめる作戦を考  
えます。



か

141

『考える練習をしよう』

マリリン・バーンズ/文 マーサ・ウェストン/絵  
しょうぶんしゃ  
晶文社

私たちの頭の中には、どん  
な問題にも取り組めるいろん  
な「道具」が備わっているそう  
です。その道具をうまく使える  
ように、問題を解きながら考  
える練習をしよう！



や

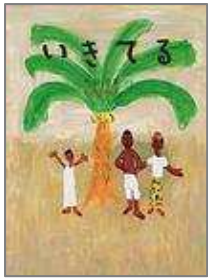
E

『やまばあかちゃん』

とみやすようこ ぶん おおしまたえこ え  
富安陽子/文 大島妙子/絵  
りろんしゃ  
理論社

富士山の噴火とともに生まれ  
たやまばあかちゃん。森の  
動物たちに育てられ元気いっぱ  
いたくましく成長します。

いじりしょう  
井尻小



い

E

『いきてる』

なかやまちなつ／文 ささめやゆき／絵  
自由国民社

この絵本は声に出して読むのがおすすめです。「いきてる〜！」ほら、元気がわいてきませんか？



じ

151

『自由って、なに？』

オスカー・プルニフィエ／文  
フレデリック・レベナ／絵  
西宮かおり／訳 朝日出版社

「自由」について考えるためのヒントがのっています。この本を参考に、色々な人と「自由」について話し合ってみませんか？



り

913

『リトル・ウイング』

吉富多美／作 こばやしゆきこ／絵  
金の星社

「自分の心で飛べるつばさ それ がリトル・ウイング」 苦手なことがあっても、好きなことが人と一緒にじゃなくてもいいんです。自分の心を大切にね。

もりしょう  
母里小

も

E

『もと こども』

富安陽子／作 いたうひろし／絵  
ポプラ社

ぼくのじいちゃんも、むかしのねえちゃんも、むかしはこども。よのなかは「こども」と「もとこども」でできているんだよ。

り

916



『竜之介先生、走る！』

片野ゆか／作 高倉陽樹／絵  
ポプラ社

5年前の 熊本大地震発生直後から、ペットや飼い主たちを救った獣医師の、本当にあった話です。彼のとった行動とは？

おまけの  
つ

488



『ツバメ 春にくる渡り鳥』

亀田龍吉／写真 おおきくにひこ／文  
あかね書房

このごろ家の軒先で子育てをしているツバメ。フンを落とすのは困るけど、毎年南の国から5000キロの旅をするふしぎ！

はくたちゅう  
伯太中



は

933

『ハティのはてしない空』

カービー・ラーソン／作 杉田七重／訳  
鈴木出版

ハティは、たったひとりで大草原の開拓にいとみます。期限は11カ月。ハティの夢はかなうでしょうか。



く

451

『雲の名前、空のふしぎ』

武田康男／文・写真 PHP研究所

なにげなく見ている空や雲に名前がついているのを知っていましたか？それぞれの雲の生まれる理由、空にまつわることわざなども紹介されています。



た

807

『たのしい回文』

せとちとせ／著 創元社

回文とは、上から読んでも下から読んでも同じ音で、ちゃんと意味もある文です。あなたも作ってみませんか？